

就職内定報告 2018

造形学部
建築・インテリア学科 **4**年

神奈川県 / 高浜高等学校 出身

内定企業

三井デザインテック株式会社 / デザイナー

事業内容：インテリア商品の販売、マンション設計変更、オフィス、ショップ・ショールーム、ホテル等のリニューアル企画・設計・施工



「こんな授業が受けてみたい」と入学を決意

子供の頃から自宅の内装について考えることが好きでした。中学生になると自分の部屋をDIYすることに夢中で、将来インテリアに関わる仕事を目指すことは早くから決めていました。

数ある建築や工学系の大学の中からBUNKAを選んだ理由の一つは、インテリアを学びながら建築士の受験資格を取得できるという点でした。それ以上に入学の決め手となったのは、オープンキャンパスで横山教授の‘婚礼のカタチをデザインする’という授業を見学し、その発想方法や授業の形式すべてに衝撃を受けたからです。作品の発表はファッションショー形式で、様々なものを身にまとい自身の考える結婚式場やアイテムを説明していく学生たちを見て「こんな授業が受けてみたい!」と強く思い、入学を決意しました。



課題を通して磨いた‘自分らしさ’を面接でアピール

授業は、‘音から感じる’家具の制作、‘本から感じる’空間デザインなど、アートに近い発想方法を要する課題が多く大変面白かったです。普段使わない感覚を磨いたり自分のデザインの源を見つめ直すことができる制作に取り組むうちに、インテリアデザイナーになりたいという気持ちはより明確になっていきました。



三井デザインテック(株)を受験した理由は、私の好きなホテルのデザインを手掛けていたことと、社員の方々の人柄に良い印象を持った点です。特にホテルやオフィス、その他商業施設など幅広い分野を手掛けている点では、今後様々な仕事に携わって成長していけそうだと感じました。

試験内容は即日設計試験とグループ面接、個人面接。最終面接では、持参したポートフォリオを使って自分らしさをしっかりと伝えられたことが良かったのだと思います。後日、人事の方からも「自分を持っている」という点を評価していただけたとうかがいました。

4年間の課題を詰め込んだポートフォリオ。ポートフォリオ制作のための授業もありますが、どのような形にするかは自分次第。この一冊で自分の感性や志向がわかるように、レイアウトや製本までこだわって作りました。

「一緒に働く人」に選ばれたということ

就職活動を通して感じたことは、企業側は「一緒に働きたい人かどうか」を見ているということです。私は普段の生活の中で、自分なりの問題意識を持つことを大切にし感性を磨いています。また、大きな目標を持つことと、そのための小さな目標を明確にし達成することを心掛けています。そのことを私らしさとして評価していただき、一緒に働く人として選んでもらえたということはとても嬉しいです。

10年後、インテリアデザイナーとして様々な仕事を任せてもらえるだけの力を持つことが今の大きな目標。そのための小さな目標を、これから一つひとつ達成していこうと思います。

